

2023 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [木津川市立木津南中学校] 担当教諭名 [宮原 麻美・中川 晃宏] (美術部 25名)

相手国・地域 [ブラジル]

海外学校名 [Instituto GayLussac] 担当教諭名 [Livia S. Jesus Couto]

■実施教科・時間数について教えてください。

| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 教科 | 単 元 名 | 時間数 |
|-------------------------|-----|-----------------------|-----|
| | 部活動 | アートマイルプロジェクトで世界とつながろう | 60 |

■作品に込めた想いについて教えてください。

| | |
|--|---|
| 題 (テーマ) | 教育は平和につながっている Education Leads to Peace |
| メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ) | 教育は平和につながっている。 私たちは個性が尊重され、社会的不平等が無い未来を創りたい。 「個性が尊重される」という言葉の中には、多様性の尊重、平等な権利の尊重、いじめや不登校の解決、国の文化と習慣の尊重、国と国との友好も含まれています。 |



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|---|---|
| SDG4「質の高い教育をみんなに」と 16「平和と公正をすべての人に」を元に、4つの論点「1. 平和とは何か 2. 平和につながる教育とは 3. 不登校をどう改善するか 4. いじめ防止プロジェクトについて」で相手校と話し合いを重ね、壁画のデザイン等でも活発に意見交換ができた協働学習を深めることができた。 | 前半話し合い活動が多かったため、話し合いの苦手な生徒が部活動への参加をしづらかった。ふせんに書くなど意見の出し方も工夫したが、話し合いがどのように壁画制作に結び付いていくのか、わかりやすい形で見通しを持たせる必要があった。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|--|---|
| 4つの論点について話し合う中で、相手との共通点、相違点、気づきなどを話し合い、共有することができた。不登校の原因が経済的な理由も大きいということ、平和をもたらす教育にスポーツが奨励されていること、その反面スポーツが苦手な人に対する差別もあるなど、相手国を多面的に理解することができた。 | SDGs等、生徒たちの話し合い活動に広がりが見られた。最初はなかなか意見が出なかったが、2年生が工夫し、リードして1年生も自分の意見を伝えられるようになり、意外な視点からの意見や質問を相手に伝えることで、話し合いが深まった。生徒たち主体に進める事で、予想以上に全体の成長が見られた。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|------------------------------------|----------------|--|--|-------|
| 調べ学習 テーマ学習 | 6月 ～ 8月 | ・ブラジルについての調べ学習 ・メッセージ動画を作って送った。 ・グループ毎にSDGsのテーマについてマインドマップで話し合った。 | 相手が決まり、興味津々で、調べ学習も楽しそうだった。 班ごとにマインドマップを書くことで、おたがいの考えを知る交流にもなった。 | 部活動 |
| 共有 <small>相手と意見交換</small> | 6月 ～ 10月 | 6月にSDGsの目標について両国の話し合いをもとに、具体的な論点について、日本側から話し合うことを提案した。両国の話し合いは10月まで続いた。 | 話し合い活動にも徐々に慣れ、自分の意見をしっかり伝えられる生徒が増えてきた。自分たちの問いかけに対する、相手国の反応に新鮮な驚きもあったようだ。 | 部活動 |
| 融合 <small>メッセージ作成</small> | 9月 ～ 11月 | 1. どんな未来を望むか？ 2. それを達成するために何ができるか？ 3. 世界中の人々に伝えたいメッセージについて両国で話し合った。 | 自分の国だけでなく、相手国の状況や課題を含めて、共通して伝えたいメッセージについて考え、想いを共有することができた。 | 部活動 |
| 創造 <small>壁画制作</small> | 11月 ～ 3月 | ブラジル側が先に制作することになったが、壁画のアイデアや構図については、日本側からもアイデアスケッチを送った。12月末に壁画が届き、調和のとれた画面にするために、色々工夫していた。 | 話し合った内容とメッセージをどう壁画に表現するか、アイデアを出し合った。ブラジル側が日本側のアイデアや構図を取り入れつつ、個性的な作品に仕上げている、感動していた。日本らしさの表現を工夫した。 | 部活動 |
| 評価 <small>振り返り 自己評価</small> | 3月 | ・壁画に学習の成果がどう表われているか ・話し合いや制作活動で自分や部員が頑張っていたこと、成長したこと、課題点等について振り返った。 | 自分や部員の成長を感じ、来年度にもっとこうしたいという具体的な想いをもつことができた。部内で交流できたことを評価する意見も多かった。 | 部活動 |

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

| 学習目標・つけたい力 | 評価 | 教師がそう感じた場面と理由 |
|---------------------------------|----|--|
| 異文化を理解する力 | 4 | 実際に同じテーマで意見を交流する中で、共通点や相違点に気づきがあった。生徒の感想にも、SDGsやブラジルについて更に興味がわいてきたという意見が多かった。 |
| 主体的に考え行動する力 | 5 | 昨年アートマイルを経験した2年生がリーダーになって、グループをまとめ、自分たちで話し合い、活動を推進していった。 |
| 批判的に思考する力 (客観的・論理的視点) | 4 | 不登校の理由には国の背景があることを知り、それを改善するためにどうしたらいいと思うか、相手国にも意見を求めた。また、平和教育にスポーツが奨励されていると知り、スポーツが苦手な人に対する差別はあるのか質問した。 |
| 多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働) | 5 | 4つの論点について、7月～10月にかけて話し合い、まとめ、交流しあうことができた。 |
| 想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作) | 5 | 両国の想いを融合したメッセージができた。今年度は、相手校が先に制作したので、調和のとれた作品にすること、その中に自分たちのテーマに対する想い、日本らしさをどう表現するか工夫できた。 |